



2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 大英産業株式会社 上場取引所 福
 コード番号 2974 URL <http://www.daieisangyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 信
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 宇留嶋 栄治 TEL 093-613-5500
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績（2021年10月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	6,813	△1.8	11	△97.4	△33	—	△20	—
2021年9月期第1四半期	6,939	21.7	421	83.7	382	111.2	248	123.0

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 △20百万円 (—%) 2021年9月期第1四半期 247百万円 (121.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	△6.29	—
2021年9月期第1四半期	75.80	74.60

(注) 2022年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	32,760	6,753	20.6
2021年9月期	30,252	6,840	22.6

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 6,753百万円 2021年9月期 6,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年9月期	—				
2022年9月期（予想）		0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,090	△20.4	△532	—	△622	—	△624	—	△190.05
通期	35,458	11.8	1,071	17.2	882	12.6	569	10.9	173.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社 （社名）－

除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年9月期1Q	3,286,500株	2021年9月期	3,286,500株
2022年9月期1Q	－株	2021年9月期	－株
2022年9月期1Q	3,286,500株	2021年9月期1Q	3,274,500株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
販売及び契約の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種率が高まり、新規感染者も減少したことを背景に、10月に緊急事態宣言が全面的に解除となり、経済活動が活発化、景気回復の動きが見られました。海外におきましては、米国がインフレ抑制に向けた政策金利の引上げを示唆したことによる景気回復に対する逆風への懸念、また新たな変異株の感染拡大により先行き不透明さは依然続くこととみられております。

当社グループが属する不動産業におきましては、2050年カーボンニュートラル実現の観点から、高い省エネ性能を有する新築住宅の取得等に対する補助金制度が国交省より出されるなど、2050年に向けた政策と併せ、住宅取得を促進する動きがみられております。しかしながら、建築資材の不足や原油高騰に伴う輸送費の高騰による建築原価の高騰は依然継続しており販売価格の高騰へつながっております。

そのような事業環境下、当社グループの第1四半期においては、完成在庫の販売に注力してまいりました。当期(2022年9月期)は、下半期にマンション分譲事業の竣工が偏ったことから売上の計上が下半期に偏る計画となっており、また、前年同期に高粗利物件の売上計上があったことにより、前年同期と比べ利益が減少しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高6,813百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益11百万円(同97.4%減)、経常損失33百万円(前年同期は382百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は20百万円(前年同期は248百万円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(マンション事業)

マンション事業におきましては、「サンパーク健軍レジデンス(熊本県熊本市、総戸数52戸)」、1LDK~2LDKのコンパクトマンション「サンレリウス小倉片野(福岡県北九州市、総戸数33戸)」が竣工し、約80%の売上を計上しております。また、完成在庫であった、「サンパーク川内駅テラス(鹿児島県薩摩川内市、総戸数55戸)」、「サンパーク熊本駅南グレース(熊本県熊本市、総戸数52戸)」が完売いたしました。第1四半期におきましては、新規分譲開始物件はございませんでしたが、第2四半期の販売開始予定物件である4棟の販売準備を進めております。

この結果、引渡戸数は114戸、売上高は3,116百万円(前年同期比6.4%減)、セグメント利益は66百万円(同85.2%減)となりました。

(住宅事業)

住宅事業におきましては、前年に販売を開始した外観や内装をセレクトできる建売住宅「ONEHOUSE」の販売が好調となりました。また土地分譲事業におきましても、戸建需要の高まりから順調に推移しております。しかしながら、米国木材の高騰によるウッドショックの影響、またその他建築資材の高騰は依然続いており、建築原価が当初想定額を超えたため、売上総利益率が減少しております。

引渡数におきましては、分譲住宅事業が96戸、不動産流通事業が35戸、タウンハウス事業が2戸、土地分譲事業が31区画となり、売上高は3,681百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益は162百万円(同18.1%減)となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、水道供給事業と不動産賃貸事業を行った結果、売上高は16百万円(前年同期比11.6%増)、セグメント利益は6百万円(同34.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は32,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,507百万円増加いたしました。これは、前連結会計年度末に比べ、仕掛販売用不動産が3,834百万円増加し17,267百万円に、販売用不動産が782百万円減少し6,007百万円に、現金及び預金が534百万円減少し7,168百万円になったことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は26,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,593百万円増加いたしました。これは、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が579百万円減少し2,534百万円に、1年内返済予定の長期借入金が686百万円増加し4,808百万円に、長期借入金が2,461百万円増加し9,336百万円になったことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円減少いたしました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失で20百万円減少及び配当により65百万円減少し、総額で86百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月11日に公表の「2022年9月期の連結業績予想」に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,702,898	7,168,098
受取手形及び売掛金	51,336	—
売掛金	—	37,587
販売用不動産	6,790,133	6,007,868
仕掛販売用不動産	13,432,660	17,267,377
未成工事支出金	13,615	4,946
原材料及び貯蔵品	12,129	11,896
その他	442,422	437,222
流動資産合計	28,445,197	30,934,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	669,979	631,324
土地	567,797	543,354
その他(純額)	76,473	164,552
有形固定資産合計	1,314,250	1,339,231
無形固定資産		
その他	59,211	58,791
無形固定資産合計	59,211	58,791
投資その他の資産		
繰延税金資産	316,043	322,721
その他	118,145	104,726
投資その他の資産合計	434,189	427,448
固定資産合計	1,807,651	1,825,471
資産合計	30,252,849	32,760,469
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,114,195	2,534,416
短期借入金	7,084,524	7,317,008
1年内返済予定の長期借入金	4,122,617	4,808,831
未払法人税等	124,146	6,084
賞与引当金	139,582	69,122
株主優待引当金	1,494	—
資産除去債務	45,470	50,380
その他	1,370,175	1,362,223
流動負債合計	16,002,206	16,148,066
固定負債		
長期借入金	6,875,002	9,336,913
役員退職慰労引当金	188,032	188,891
完成工事補償引当金	162,646	155,493
訴訟損失引当金	44,934	44,934
退職給付に係る負債	37,872	39,461
資産除去債務	81,514	72,700
その他	20,441	20,150
固定負債合計	7,410,444	9,858,545
負債合計	23,412,651	26,006,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,566	327,566
資本剰余金	229,566	229,566
利益剰余金	6,284,250	6,197,855
株主資本合計	6,841,384	6,754,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,186	△1,133
その他の包括利益累計額合計	△1,186	△1,133
純資産合計	6,840,198	6,753,856
負債純資産合計	30,252,849	32,760,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上高	6,939,323	6,813,634
売上原価	5,465,175	5,635,600
売上総利益	1,474,148	1,178,033
販売費及び一般管理費	1,052,582	1,167,030
営業利益	421,565	11,003
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	92	6
受取手数料	17,764	20,150
受取賃貸料	4,976	12,744
その他	14,835	14,290
営業外収益合計	37,674	47,192
営業外費用		
支払利息	68,261	81,994
その他	8,436	9,735
営業外費用合計	76,697	91,730
経常利益又は経常損失(△)	382,542	△33,534
特別利益		
固定資産売却益	40	9,203
特別利益合計	40	9,203
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	382,582	△24,331
法人税、住民税及び事業税	82,368	3,034
法人税等調整額	52,010	△6,701
法人税等合計	134,379	△3,666
四半期純利益又は四半期純損失(△)	248,203	△20,664
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	248,203	△20,664

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	248,203	△20,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	53
その他の包括利益合計	△205	53
四半期包括利益	247,997	△20,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,997	△20,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、株式会社大英エーステート、株式会社大英不動産販売を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。また、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従来の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第1四半期連結会計期間に係る四半期連結財務諸表への影響、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「売掛金」に含めて表示することといたしました。前連結会計年度の「受取手形及び売掛金」については、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従っており、新たな表示方法への組替を行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	マンション事業	住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,330,758	3,594,143	6,924,902	14,421	6,939,323
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,330,758	3,594,143	6,924,902	14,421	6,939,323
セグメント利益	446,640	198,931	645,571	5,183	650,755

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水道供給事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	645,571
「その他」の区分の利益	5,183
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△229,189
四半期連結損益計算書の営業利益	421,565

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	マンション事業	住宅事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,116,237	3,681,303	6,797,541	11,713	6,809,255
その他の収益	—	—	—	4,378	4,378
外部顧客への売上高	3,116,237	3,681,303	6,797,541	16,092	6,813,634
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,116,237	3,681,303	6,797,541	16,092	6,813,634
セグメント利益	66,098	162,873	228,971	6,947	235,918

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水道供給事業等を含んでおります。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	228,971
「その他」の区分の利益	6,947
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△224,915
四半期連結損益計算書の営業利益	11,003

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売及び契約の状況

当第1四半期連結累計期間の契約実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	
	件数	金額 (千円)
マンション事業	120	3,260,706
住宅事業	163	3,515,951
合計	283	6,776,657

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	
	件数	金額 (千円)
マンション事業	114	3,116,237
住宅事業	164	3,681,303
その他	—	16,092
合計	278	6,813,634